

Vol.46 行政連携

行政連携センター運営委員会、行政問題委員会、弁護士業務改革委員会

2015年度包括外部監査チーム 意見交換会



行政問題委員会 副委員長 難波 泰明

1 はじめに

現在、大阪府下では、当会所属の弁護士3名が包括外部監査人を務めています。行政連携センター運営委員会、行政問題委員会、弁護士業務改革委員会の共同で「包括外部監査プロジェクトチーム」を組織し、各包括外部監査人の補助者の推薦などを通じて、各チームをバックアップしています。

このたび、包括外部監査のスキルアップ、ノウハウの構築・共有のため、3つの包括外部監査チームを招いた意見交換会が行われましたので、ご報告します。

各チームからの出席者は以下のとおりです（監査人、補助者の順。★は包括外部監査人補助者名簿登録者。）。また、行政連携センター運営委員会金子武嗣委員長、弁護士業務改革委員会森信静治委員長、日弁連自治体等連携センター包括外部監査第三者委員会部会長伊藤倫文弁護士（愛知県弁護士会）も参加しました。
大阪府…畑 守人（24期）、桂 充弘（35期）、

★久保井聡明（46期）、久保田興治（63期）
堺 市…★井上圭吾（36期）、★岸本佳浩（42期）、
★安部将規（50期）、★岸田陽子（56期）、
★富田陽子（56期）、★東 尚吾（61期）
高槻市…★森本 宏（39期）、★滝口広子（44期）、
★難波泰明（63期）、★西尾和則（63期）、
太田慎也（66期）

2 各チームの監査結果報告

まず、各チームから、選定したテーマと監査結果の概要、包括外部監査のスケジュール、役割分担（特に公認会計士との分担）、調査方法、報告書作成にあたって苦労した点などについて報告がありました。財務監査になじみにくく公認会計士では取り上げにくいテーマについても積極的に挑戦し、一定の監査結果を獲得するなど、各チームの創意工夫がみられました。また、対象自治体との意見交換や資料提供の方法など、監査

のスケジュールや監査方法についても、各チームのノウハウの共有が図られました。

3 監査テーマの選定方法

監査テーマの選定についても意見交換がされました。監査テーマの選定は、どのチームにとっても悩ましい問題ですが、対象自治体の施政方針やヒアリングなどにより重要と思われるテーマを絞り込み、これまでに実施されていない分野や観点を取り込むなど、有意義なテーマの選定方法について意見が出されました。

4 3E監査の工夫

また、3E監査（各施策が有効的、効率的、経済的にされているかという観点から行う監査）についても意見交換がされました。対象自治体が行う事務事業評価において3Eの観点から適切な指標が定められておらず、市民への説明が十分にされていないと思われる場合には、適切な指標を定めるよう指摘するなどの意見が出されました。

5 弁護士による包括外部監査の意義

弁護士による包括外部監査の意義についても意見交換がされました。合規性監査、とりわけ制度の趣旨・目的にさかのぼった検討は、弁護士にしかできないとの意見が多く聞かれました。また、弁護士の場合は、財務監査になじみにくいテーマも積極的に取り上げたり、他士業や監査委員監査以上に問題点を深く掘り下げられたりすることも、弁護士による外部監査として意義があるとの意見も出されました。

6 最後に

当PTでは、弁護士による包括外部監査を推進すべく、各会員のスキルアップのため、包括外部監査人補助者名簿登録研修を行っており、今後とも、名簿搭載者の包括外部監査人・補助者採用の拡大を進めていきます。